

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	インバウンド観光産業Ⅱ		（TCR219）
講義名（コード）	TCR_インバウンド観光産業Ⅱ_B		（TCR219B）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	開場 美枝	時間数	30
成績評価教員	開場 美枝	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	専門力におけるサービス分野内のホスピタリティ科目として、特にインバウンド観光分野で活躍するためのホスピタリティマネジメントおよびコミュニケーションの基本的な理論、知識、スキルを習得することで、即戦力として活躍できる対人対応力を養成する。 日本の地理・歴史・文化の特色と観光産業を押さえ、観光客に対する出迎え～見送り、報告・精算、トラブル対応までの基本的な動作を自ら取ることができるようになる。
全体の内容と概要	日本におけるインバウンド観光産業に寄与する人材としての基本的資質の養成のために、日本の地理・歴史・文化と、インバウンド産業への理解を深め、インバウンド実務の基本動作や安全管理を適切に行うことができるよう演習を行う。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	授業スケジュールと内容は、祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	後期オリエンテーション インバウンド業務の仕組みについて理解し、説明をすることができる。	後期オリエンテーション インバウンド業務の仕組み 【旅行の形態】 【インバウンド旅行の特徴】 【旅行の商品と種類】
2	訪日客の安全管理について考え何に配慮すべきか理解する。	インバウンド業務の実践 様々なトラブル発生時の対応とその他トラブルと回避方法
3	様々なお客様への対応方法を知る。	日客の安全管理 様々なお客様への対応 1) 高齢のお客様 2) 障害のあるお客様
4	ツアー作成のターゲットを考える。	旅行プランを作成するにあたり顧客層と旅行の目的を明らかにする。
5	SDG s を取り入れた場所を調べる。	SDG s を取り入れた観光スポットを調べる。
6	SDG s を取り入れたツアープランを作成する。	SDG s を取り入れた旅行の骨組みを作る。
7	訪日客の安全管理について学ぶ	3) 特別な配慮が必要なお客様 ハラルフード・ビーガンフード・アレルギーフードの基礎知識
8	食について調べ発表する準備をする	ハラルフード・ビーガンフード・アレルギーフードについて理解したことをまとめ、発表の準備をする。
9	調べたことを発表できる	ハラルフードについて発表をする / 評価表に記入する
10	調べたことを発表できる	アレルギーフードについて発表をする / 評価表に記入する
11	オンラインツアーの内容を知る。	オンラインツアーについて学び、近郊でどんなオンラインツアーが可能か話し合う。
12	オンラインツアーを作成する。	オンラインツアーの内容を知り、SDG s を取り入れたオンラインツアーを作成する。
13	期末試験準備	プリント等復習と確認
14	期末試験	期末試験
15	答え合わせと振り返り	答え合わせと振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	講師からプリントを配布する。
参考文献・資料等	書籍名／出版社：インバウンド業務入門 / 一般社団法人日本添乗サービス協会 授業中に別途指定する場合がある。
備考	